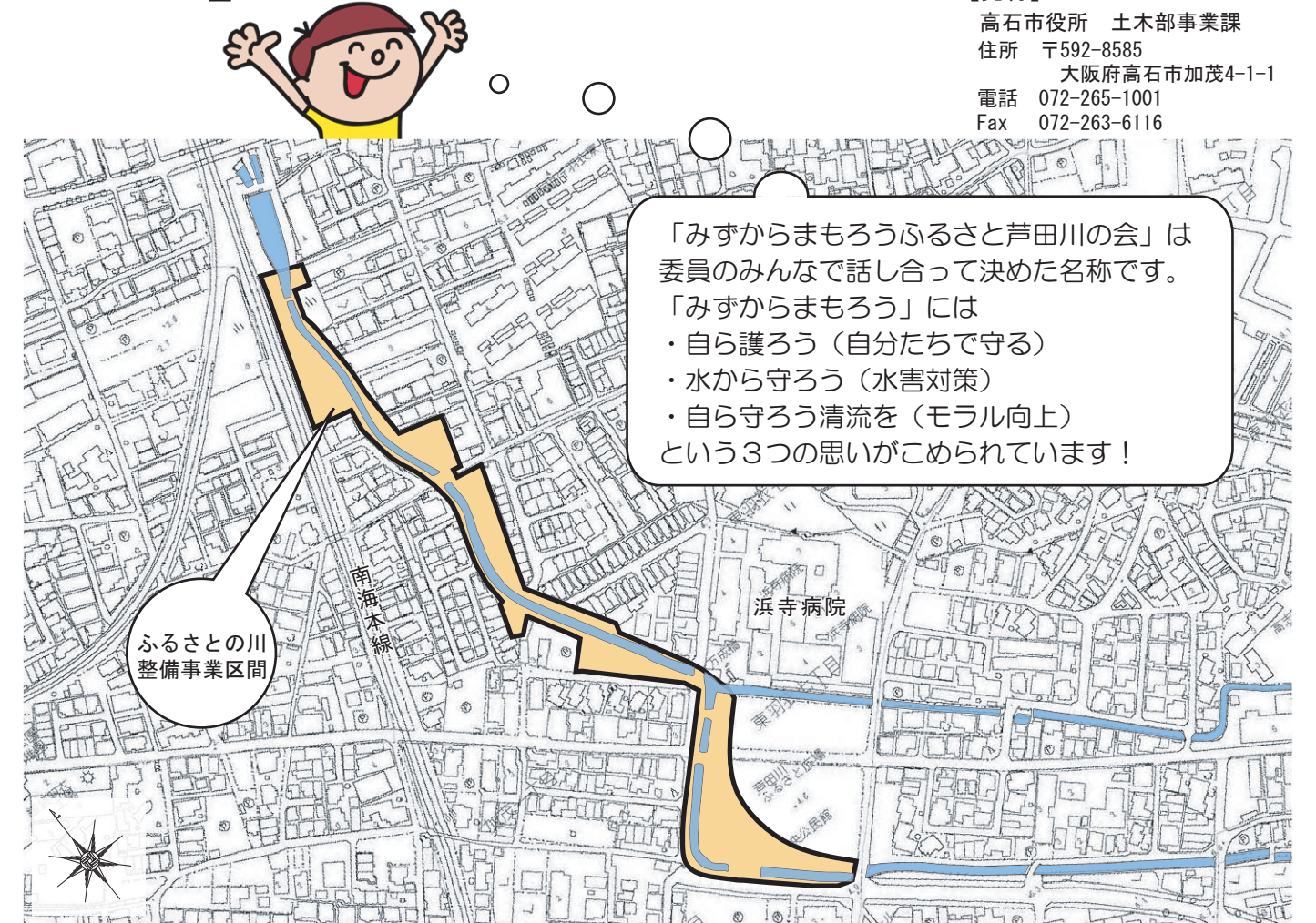


芦田川 かわら版

～みずからまもろうふるさと芦田川の会～ 創刊号

【発行】
高石市役所 土木部事業課
住所 〒592-8585
大阪府高石市加茂4-1-1
電話 072-265-1001
Fax 072-263-6116



「みずからまもろうふるさと芦田川の会」は委員のみなんで話し合って決めた名称です。「みずからまもろう」には
・自ら護ろう（自分たちで守る）
・水から守ろう（水害対策）
・自ら守ろう清流を（モラル向上）
という3つの思いがこめられています！

芦田川の水質

下図に示している、下流部（ショートカット分岐部(A)、万成橋(B)、乙の池水路(C)、中央公民館前(D)、加茂（芦田川ふるさと広場の東側(E)、富木(F)、鶴田池(G)の7箇所について、簡易な水質検査キットによる水質調査を行いました。項目はPH、亜硫酸、COD、アンモニウム、リン酸の5種類の調査を行いました。

芦田川の水質は以前と比べてかなり改善されています！



鶴田池はリン酸と亜硝酸の数値が他の採取場所より高く富木ではアンモニウムの数値が高くなっていました。これらは生活排水や工業用水、田畑からの肥料が流入している可能性があります。また乙の池水路では特にCOD値が高くなっており、これにも生活排水等が混入している可能性があります。COD値が高いと水中の物質が酸素を奪ってしまうので水中の酸素が足りなくなり生き物が住めなくなってしまう。しかし事業区間内の採取場所は全ての項目でおおよそ数値が小さく、水質改善が進んでいることがわかります。



検査キットを用いて水質検査を行いました。

採取場所	PH	亜硝酸(mg/L)	COD(mg/L)	アンモニウム(mg/L)	リン酸(mg/L)
A 下流部	8.5	0.2	7.0	0.5	0.5
B 万成橋	9.5	0.2	6.0	0.0	1.0
C 乙の池水路	8.0	0.1	10.0	0.0	0.2
D 公民館前	9.0	0.2	7.5	0.0	0.2
E 加茂	9.0	0.1	7.0	0.0	0.2
F 富木	8.0	0.8	8.0	10.0	0.2
G 鶴田池	8.0	1.0	8.0	5.0	2.0

※特異値を除く平均値

芦田川トピック

水質調査の項目は何を調べているの？

- PH**
 水の酸性、アルカリ性の度合いの単位です。PH7を中性と呼び、7より数字が小さいと酸性、大きいとアルカリ性を表します。水辺や水中に住む生き物にとっては酸性になりすぎてもアルカリ性になりすぎても住みづらくなってしまいます。
- 亜硝酸**
 生活排水や下水、畑で使った肥料などから発生する有害なものです。数値が高いほどその水が汚れていることを表します。
- COD**
 水の中にある有機物を薬品で分解するときに使われる酸素の量のことで、CODの値が高いと、汚れた水が流れ込んでいることを示し、魚などが住めなくなります。
- アンモニウム**
 生き物の死骸や尿などが微生物によって分解される途中にできるものです。数値が高いほどその水が汚れていることを表します。
- リン酸**
 工場や家庭から出る排水、肥料などに含まれています。リン酸が多すぎると植物プランクトンや藻類の異常発生の原因となり、水中にすむ生き物にダメージを与えます。



芦田川の整備事業

芦田川は和泉市信太山の段丘地に源を発し、高石市の市街地を貫流して大阪湾（浜寺水路）に流入する二級河川です。平成9年度には高石市東羽衣地先（新北水路合流点）から高石市西取石地先（国道26号）までの約1.4kmが国土交通省のふるさとの川整備河川に指定されました。そして今回、ふるさとの川整備河川指定区域約1.4kmの内、高石市東羽衣地先（新北水路合流点）から高石市加茂地先（芦田川ふるさと広場）までの約0.5kmについて、整備を推進していくことになりました。整備事業区間にはサクラ並木や芦田川ふるさと広場があり、治水・防災を基本に環境にも配慮した周辺地域のまちづくりとの一体的な整備を市民との協働により計画し、市民に親しまれ憩える魅力ある河川づくりを行っていきます。

みずからまもろうふるさと芦田川の会がスタートしました！

住民と行政等の協働により整備事業区間について計画を行う、「みずからまもろうふるさと芦田川の会」が平成21年8月29日（土）にスタートしました。このワークショップは住民の視点から現況や課題の把握やアイデアについて意見交換をして設計に反映するとともに、整備後の管理運営のあり方も含めてみんなで一緒に話し合っていこう！という目的でスタートしています。芦田川かわら版ではワークショップで交わされている熱い議論についてご報告します。

第1回ワークショップ

実施日 : 2009年8月29日 (土)
実施場所 : 高石市役所別館1階
参加者 : 18名

平成21年8月29日(土)、『あなたにとっての芦田川は?』というテーマのもと、総勢18人の委員が集まり、第1回芦田川ふるさとの川ワークショップがスタートしました。第1回目のワークショップでは芦田川の整備事業についてや芦田川の概要、ワークショップの進め方について説明が行われ、本ワークショップの目的についてみんなで確認を行いました。その後は3つの班に分かれて、『あなたにとっての芦田川は?』といったテーマで自由に意見交換が行われました。



1班

「サクラ」「生き物」「整備後の管理面」や「どんな川になってほしいか」について意見が出されました。特にこの班では子どもが芦田川で生き物を捕まえてたりして、毎日のように遊んでいる現状が報告されました。

【主なご意見】

- 桜を活かしたい
 - ・河川工事をした後、新しい桜でも良いのもう一度植えてほしい。
- 管理が大切
 - ・公園などを整備する際には、その後の管理をだれがどのように行うかを考えておくことが重要である。
- 子どもと芦田川
 - ・新北水路合流点では子どもが生き物を捕まえて遊んでいるのを見かける。
 - ・整備後も川遊びが出来る川にしたい。
- 伽羅橋を再整備したい
 - ・現在、高砂公園にある伽羅橋をもってきて欲しい。

2班

「子どもの頃の思い出」「芦田川の水質」「水害」や「どんな川になってほしいか」について意見が出されました。この班では子どもの頃から芦田川を見てきた人がおり、昭和40年頃からこれまでの芦田川の変化が報告されました。

【主なご意見】

- 植生
 - ・10年ほど前から鳥が戻ってきた。
 - ・昔は川の近くの田んぼにホタルがいた。
- 水質
 - ・水質は近年の方が良くなってきている。
- 水害
 - ・早く治水工事を完了してほしい。
- どんな川にしていきたいか
 - ・今は子どもが芦田川で遊んでいる事が問題になる。安心して遊べる川にしたい。
 - ・学校の川の学習に使えるといい。
- 管理
 - ・芦田川ふるさと広場で草が茂っている状態なのに管理していけるのか。

3班

「水害」「サクラ」「地下水の涵養」「市民のモラル」について意見が出されました。特にこの班で昭和57年の芦田川氾濫を体験した人が多数参加されており、その当時の水害の様子も報告されました。

【主なご意見】

- 桜を活かしたい
 - ・昭和57年の水害ではひざ下くらいまで水に浸かった思い出がある。
 - ・河川工事をした後、新しい桜でも良いのもう一度植えてほしい。
- サクラ
 - ・次は世代交代がスムーズにいく様に植えていきたい。
- 地下水の涵養
 - ・コンクリート張りにしたことで鉄砲水になった。水が少ない時は藻が発生して臭くなる。
- 市民のモラル
 - ・芦田川に雑排水を流している人がいる。また市民がゴミを投げ捨てている。
 - ・ゴミ対策を考える必要がある。



整備事業やワークショップの目的についての理解を深めました。



3グループに分かれて、芦田川に対する思いについて意見を交わしました。



各班で出てきた意見を発表しました。

第2回ワークショップ

実施日 : 2009年9月26日 (土)
実施場所 : 中央公民館
参加者 : 20名

平成21年9月26日(土)、『芦田川再発見ウォーク〜川あるき・まちあるき〜』が開催されました。この第2回ワークショップでは芦田川の周りを歩くだけでなく、実際に芦田川に入って生物調査を行ったり、水質検査キットを用いた水質調査を行いました。

意外と色々な生き物が生息していました!



生物調査

委員の皆様に参加していただき、中央公民館の前から芦田川に実際に入って底生生物の採取を行いました。川に入っていると通りがかった方にも声をかけていただき、楽しい一時となりました。芦田川にはアメンボ、メダカ、サカマキガイ、ヒル等、普段上から眺めているだけでは気付かないくらい多くの生き物が生息していました。

サカマキガイやヒルといった底生生物は少し汚れた川に生息している生き物です。将来的に整備を進めた際には、もっと多様な生き物が生息する川になる可能性が考えられます。



底生生物を網を使って採取しました。



アメンボ



メダカ

芦田川マップ作り

川あるき・まちあるきをした後、班毎に分かれて芦田川のマップ作りを行いました。歩いている時に撮ってきた写真を用いて新しい発見や芦田川の良いところ・改善すべきところなどを地図に書き込みながらまとめていく事で情報の共有ができました。

1班

- ・現在中央公民館を出て芦田川ふるさと広場の北西側が一方通行になっているが、双方通行できるようにしてほしい。
- ・カメが50匹ほど見られた。また白鷺やカモ、イナも観察できた。
- ・川に生活用水が流れて込んでくる箇所があった。

2班

- ・サクラの木によって美しい景観になっている。
- ・万成橋の付近や乙の池水路の水が汚い。
- ・芦田川ふるさと広場は非常に整備が悪い。
- ・整備されている場所では頻繁に作業車が通るので子供の登下校が危ない。

3班

- ・彼岸花のような季節を感じる花が地面に根付いて地域が美しくなっている。
- ・川の湾曲点はカーブがきつすぎる。
- ・芦田川には20種類以上の鳥が集まってきたりしている。
- ・亀は多いが、アカミミガメという外来種で生態系に影響を与えている。

